

技術Ⅰ：3次元測量の高精度化、効率化等を図る技術

番号	試行業務名	実施者	総合評価
I-①	3次元測量(3次元地図作成)の高精度化、効率化等を図る技術の試行業務	アジア航測株式会社	B
I-②	3次元測量(UAV 写真測量)の高精度化、効率化等を図る技術の試行業務	アジア航測株式会社	B

技術Ⅱ：電子基準点の利用促進、機能の高度化、維持管理の効率化等を図る技術

番号	試行業務名	実施者	総合評価
Ⅱ-③	マルチGNSS測量の利用促進を図る技術の試行業務	株式会社パスコ	A
Ⅱ-④	電子基準点の電源の高度化を図る技術の試行業務	株式会社栄光エンジニアリング	B
Ⅱ-⑤	電子基準点の障害物対策の高度化を図る技術の試行業務	株式会社栄光エンジニアリング	B
Ⅱ-⑥	電子基準点の通信方法の高度化を図る技術の試行業務	KDDI株式会社	A

<凡例>

- A: 目標は達成され、十分な研究成果があった
- B: 目標は概ね達成され、研究成果があった
- C: 技術の発展性: 目標の一部に対し一定の成果があった
- D: 成果があったとは言い難い